南部SCミニバレーボール大会表彰式

とぴっく NEWS & REPORT 1がつ

ふうせんバレーボール大会優勝
長崎振興委員会の皆さん

夢をトスして・・・
第11回わくわくふうせんバレーボール大会

11月10日(土)　アクアドームくまもと

今回は、熊本県内のチームに加え、福岡、鹿児島、長崎から、あわせて13チームが参加し、親睦を深めながら、午前中は予選リーグ、午後は順位グループでのトーナメントを行いました。

ふうせんバレーボールは、北九州市で考案された、健常者と障がい者が一緒にゲームを行うスポーツで、全国大会も開催されています。鈴が2つ入った直径40㌢の風船を使い、コートにいる全員が風船にふれてから相手コートに返すというルールでゲームが進んでいきます。15点先取するか、制限時間(予選15分、決勝トーナメント20分)で多く点を取ったほうが勝ちとなります。

開会式での江津湖療育園発達医療センターの代表による選手宣誓のあと、試合にうつりました。

試合では、必ず全員が触れて返すために、コートでお互いに声を掛け合い、励ましあいながら、風船を追いかけていました。同じようにアタックしても、中に入っている鈴の影響で、あるときは見事に決まり、あるときは全く逆のほうへ飛んでいくというように予測できないところもあります。また、力いっぱいのアタックで、風船が割れてしまうこともたびたびありました。制限時間いっぱいまで精一杯プレーしていました。

決勝戦は、長崎振興委員会とスターシップ(鹿児島)の対戦となり、1点を争う白熱した試合となりましたが、長崎振興委員会がなんとか振り切って優勝しました。

今回、審判をつとめていただきました、熊本市ミニバレーボール協会や熊本大学教育学部生涯スポーツ福祉課程の皆様、手話通訳の皆様のご協力のもとに無事に大会を終えることができました。ありがとうございました。

参加チームの皆様、大変おつかれさまでした。

最終結果
①長崎振興委員会(長崎)
②スターシップ(鹿児島)
③鹿児島あすなろ(鹿児島)
ゆうあいすまいる(熊本)

◇プラカード賞
野ばら(熊本)

◇ハッスルプレー賞
熊延観光福祉工場(熊本)

◇チームプレー賞
やまびこスマイル(福岡)

試合の様子

←プラカード賞
「野ばら」チームの
プラカード

南部総合スポーツセンター

利用者親睦 ミニバレーボール大会

11月17日(土)

利用者同士の親睦を図るため、年に一度ミニバレーボール大会を開催しています。今回は、7チームが参加しました。

全チーム総あたりのリーグ戦で、1チームにつき6試合戦い、勝ち数と得失点差で順位を争いました。

試合開始時は、ぎこちない動きのチームが多かったですが、何試合かしていくうちに、メンバーの息もピッタリとなり、好プレーが続出してきました。決めのアタックが出ると、見ているほうも思わず歓声をあげてしまうほどの熱戦となりました。

今回は、試合数を多くした分、メンバー全員が試合に参加できることができ、十二分にゲームを楽しんでいただけたようです。

今後も、みなさんに参加して良かった、楽しかったと言っていただけるような大会にしたいと考えております。

最後になりましたが、今回賞品を提供いただきました協賛企業各社、また審判員を務めていただきました熊本市ミニバレーボール協会のみなさま、大変お世話になりました。ありがとうございました。

参加者のみなさま、お疲れさまでした。

最終結果
①グロット
②ファミリー
③斗

試合の様子